

ようこそ図書館へ

第31号
2023年4月
津市図書館

津市図書館で行われたイベントや、郷土史、おすすめ本などを紹介する「ようこそ図書館へ」
今回は、津市図書館で行われた令和4年度みんなのPOPづくりコンテストの結果をご報告します。

<A 小学生に読んでもらいたい本>

○小学生の部



青木 千佳

○中学生の部



堀澤 紫緒

小学生向けというところと
作品の難易度がわかってい
て、主旨をよく考えて作成
された作品のように感じま
した!

がんばって書いていること
が伝わってきて、
すてきでした!

○高校生の部



村山 乃映

○一般の部



榎本 真穂

<B 中高生に読んでもらいたい本>

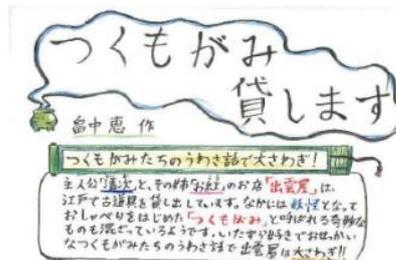
○中学生の部



山内 琴乃

個性の現れたPOP!
表現の幅広さを感じました!

○高校生の部



杉野 ひなた

世代を問わず読みたいと
思えるPOP!
今後の発展に期待です!

○一般の部



坂元 麻衣子



久居ふるさと文学館

文学館が奏でる特別なひととき～

久居ふるさと文学館では、令和4年12月3日に、隣接している久居アルスプラザとのコラボ企画『文学館が奏でる特別なひととき～やさしいオーボエの音色とともに～』を開催しました。

この企画は、クリスマスの季節におすすめの絵本を、ふるさと文学館から紹介するとともに、オーボエ奏者でもあるアルスプラザ館長の脇岡宗一さんが、絵本に関する曲をオーボエ演奏するというコラボ企画です。

館内に優しいオーボエの音色が流れ、特別なひとときとなりました。



一志図書館 絵本作家 山本孝さんと作ろう！

みんなで花見おぼけづくり！？



令和5年3月26日、とことめの里一志にて

「絵本作家山本孝さんと作ろう!!みんなで花見おぼけづくり!!」が開催されました。一見春に「おぼけ?」とびっくりされるかと思いますが、今回の講師である絵本作家 山本孝さんはワークショップを



開催される絵本作家で、しかも山本先生が手掛けられた、絵本「おぼけの花見」から発想を頂き、今回のワークショップとなりました。

当日の受付には、空き箱やはさみを持って次々と子供たちがやってきました。まず、山本先生がプロジェクターを使って「おぼけのしかえし」の読み聞かせを行い、みんなのムードを高めていきました。

「それじゃあ、よーいどん!!!」

山本先生の掛け声を合図に「おぼけづくり」スタートです。子供たちはおのおの好きな廃材や画材を持って、自席に戻り思い思いの「おぼけ」作り始めました。山本先生もそれぞれの席を回りながら、子供たちの創作に寄り添って頂きました。

楽しい時間はあっという間に過ぎ、「おぼけ」を完成させた子、まだまだ新たに作っている子、あと少しで完成しそうな子、会場の熱気はまだまだ盛り上がっていました。作品も凝っていて、

「河童ときゅうりを2本作ったの!」と誇らしげに話す子や、山本先生の見本をじぶんアレンジして作っている子もいました。

それぞれ思い思いの「おぼけ」ができたところで、「おぼけ」を持ち寄り、山本先生と記念撮影をしてワークショップは終了しました。

現在も人気のある行楽・行事である花見。また、園芸(ガーデニング)で花や野菜を育てることや、「ボタニカル」として植物のデザインなども人気である。昔の人々も園芸を楽しみ、着物や道具の装飾・紋様に植物の柄を使うこともあった。また、それぞれに関する書物も出版されていた。そこで今回は、当館の貴重資料の中から、花見・園芸・紋様に関する資料をいくつか見てみたい。

花見については、江戸前期頃には江戸や大坂、京都では名所が知られていたという。また、八代将軍徳川吉宗が江戸市中に花見の場所を整備したこともあり、その頃から人々の間で盛んになったと言われている。花見の旅の紀行文もあり、例えば、当館の貴重資料では、本居宣長が吉野へ桜の花見と神社への参詣に出掛けた際の『菅笠日記』(橋 L12. 1-82~83)や、津藩士の齋藤拙堂が月ヶ瀬の梅林を訪れた際の紀行文『月ヶ瀬記勝』(橋 L29-26~27)がある。

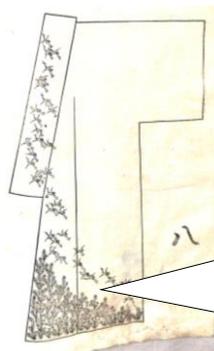
園芸が流行したことから、園芸書も多く出版された。この園芸の流行で誕生した有名な品種に「ソメイヨシノ」がある。特に朝顔や菊は品評会が開かれるほど人気があった。そこで、当時流行していた変化朝顔についてまとめた『牽牛花水鏡』(稲 47-2)や、菊の育て方を記した『菊花壇養種』(橋 61-36)といった書物も出版された。

また、家紋や衣服・道具などの紋様・装飾にも植物の花や葉がデザインとして使用されていた。中には、当館の貴重資料の一つである『着物柄帳』(稲 59-14/右側 写真



きものがらちょう
『着物柄帳』
梅・雷紋・[鶯]の
文字

上段)や『四季粧』(稲 59-15~16 同資料2冊/写真下段)に載っているように、着物の柄として植物や自然の景観を組み合わせて使われることもあった。



しきよそおい
『四季粧』
鶴と若松



拡大図 鶴と若松が
描かれている

これらの資料からは、当時の人々がさまざまな形で植物に親しみ、楽しんでいたことが伺える。

参考文献

岡登貞治著『新装普及版 文様の事典』(東京堂出版 1989年)、國史大辞典編集委員会編『國史大辞典』11巻(吉川弘文館 1990年)、本居宣長記念館編『本居宣長事典』(東京堂出版 2001年)、大石学編著『史上最強カラー図解 江戸時代のすべてがわかる本』(ナツメ社 2009年) [他]

レファレンス事例集

毎日の生活の中での疑問や、調査・研究のための調べ物のお手伝いをします

Q. 国歌「君が代」の歌詞の意味を知りたい。

「知っていますか？君が代 日の丸一問一答」288・9/ウ 解放出版社、「国歌斉唱」767.5/シ 河出書房新社を紹介。
日本国語大辞典で「きみがよ」を調べ、その中に古今和歌集の「わが君は千代に八千代に～」が元歌であるという記載がある。
三星堂名歌名句辞典に「わが君は千代に八千代にさざれ石のいはほとなりて苔のむすまで」の句の意味が、わが君は千代にも八千代にも細かな石が大きな岩となり、それに苔が生えるまでもご長命でありますようにと書いてある。

2023年の人気本ベスト10

ビジネス・実用書ベスト10

1	ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー
2	まっふる滋賀・びわ湖 '23
3	嫌われた監督
4	嫌われる勇気
5	三重のトリセツ
5	ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー 2
7	スマホ脳
8	JA 全農広報部さんにきいた世界一おいしい野菜の食べ方
9	まっふる飛騨高山 '23
10	まっふる信州 '23
10	老いの福袋

児童書ベスト10

1	かいけつゾロリたべられる!!
2	かいけつゾロリつかまる!!
2	かいけつゾロリのにんじゃ大きくせん!!
4	かいけつゾロリけっこんする!?
5	かいけつゾロリのクイズ王
5	バムとケロのおかいもの
7	ノラネコぐんだんパンこうじょう
8	かいけつゾロリのメカメカ大きくせん
8	かいけつゾロリの大どろぼう
8	かいけつゾロリの大かいぞく
8	かいけつゾロリなぞのスパイとチョコレート
8	かいけつゾロリのきょうふのゆ

文学ベスト10

1	白鳥とコウモリ	6	52ヘルツのクジラたち
2	透明な螺旋	6	黒牢城
3	希望の糸	8	流浪の月
4	沈黙のパレード	9	魔力の胎動
5	ブラック・ショーマンと名もなき町の殺人	10	月下のサクラ

本の返却は期限内に

ようこそ図書館へ 第31号

発行日/令和5年4月1日 編集及び発行/津市教育委員会事務局津図書館
三重県津市西丸之内23番1号 津リージョンプラザ内 ☎(059)229-3321